

27E-pm01

次世代を担う若者のための薬学教育：高大連携「医療・薬学」講座の開講

○飯村 菜穂子¹, 北川 幸己¹, 朝倉 俊成¹, 酒巻 利行¹, 星名 賢之助¹, 川原 浩一¹, 福原 正博¹, 杉原 多公通¹ (¹新潟薬大薬)

【目的】 新潟薬科大学薬学部では2008年より次世代を担う若者に対して「薬学」の魅力、薬剤師の職域の広さ等を伝えるため、毎年趣向を凝らした企画で高大連携「医療・薬学」を開講している。本講座は今年度で9年目を迎える。この講座は座学だけでなく、実験、体験学習等を盛り込んだ様々な授業形態を導入するなどの工夫をしている。さらには科目等履修生としての単位を授与する取り組みも行い受講生のモチベーションアップにつなげている。今年度の実施を通じて講座の様子、受講生の学習に対する意識調査、入試との関係について分析を行ったので報告する。

【講座計画・企画】 平成28年7月から8月の間、全8回の講義、1回の実験講座、医療現場における体験学習及び討論学習を計2回企画し実施した。また本講座において定められた出席数を得た受講生に対して単位認定試験の受験資格を与えた。

【結果・考察】 本講座を受講した生徒は延べ人数にして約240名であった。県内だけでなく県外からの参加もあり、多くの生徒達に「薬学」の魅力を伝えることができ、親しんでもらえたと感じている。今年度の受講生のうち13名が単位認定試験の受験をし、本学1年生の開講科目である「薬学に親しむ(1単位)」の単位を取得した。これで単位認定された受講生の総数は約130名となった。さらに単位認定試験に合格した高校生はもちろんのこと、本講座の受講生が本学の入学を希望し受験生となることも今年度の入試を通じて再確認し、その数はこれまでで約100名になることが分かった。以上のことから本講座の実施は薬学啓蒙に貢献するなど一定の成果を生んでいると思われる。